

参議院選挙 うち越さくら と

ともに、さく。NEWS

NO.1 2019.5.18

市民連合@新潟

共同代表 磯貝潤子、金子修、
佐々木寛、成島隆、水内基成

(広報・酢山 090-4923-0050)

うち越さくら 新潟での立候補の決意「理不尽、不平等の解消に取り組んできた弁護士としての私であれば皆さんの愛する新潟が少しでも豊かになることにお手伝いができる」「まだまだ未熟ですが、日増しに私の中でみなぎるものが強くなっています」「夏の参院選で勝ち抜くためにみなさんの応援をお願いします」



5月11日(土)、2019参院選「野党統一候補」うち越さくら共同記者会見が開催され、野党国会議員、県内野党代表、市民連合はじめ幅広い市民団体の代表が集結して、予定候補者のうち越さくらさんが決意を述べました。



私は今まで弁護士としてDV被害者や虐待を受けた子どもたちに寄り添って仕事をしてきました。やりがいのある仕事で自分では天職だと思っていました。でも出会う人はごく僅かで一握りの人でもっと多くの弱い人たちに寄り添うには制度や政治を変えることが大事だとあらためて思い、それが政治家の役割で私を目指し、それも新潟からと考えるに至りました。それよりも前に新潟の皆さんが私を受け入れてもらえるのかを考えました。弁護士として以前、何回か新潟に講演に呼ばれて、楽しく意見交換や優しく接していただきました。こういう新潟の人であれば、私を受け入れていただけたらと思いました。新潟は女性の国会議員も多数、活躍されていることにも励まされました。新潟は私にとってとても魅力的な所です。もっと知りたい、新潟の人からいろいろ教えてもらいたい。中小企業や兼業農家の後継ぎがないと聞きますが、戻ってきてもらいたい。中央と地方の格差はこのままではだめです。新潟は原発でのリスクと分断を抱えています。県民の大多数は“原発ゼロ”です。分断を乗り越えて、新潟で本気で“原発ゼロ”に向き合っていきたい。そこに私が新潟で立候補する意義があると考えています。新潟のために尽くしたい、その思いでいっぱいです。

後継ぎがないと聞きますが、戻ってきてもらいたい。中央と地方の格差はこのままではだめです。新潟は原発でのリスクと分断を抱えています。県民の大多数は“原発ゼロ”です。分断を乗り越えて、新潟で本気で“原発ゼロ”に向き合っていきたい。そこに私が新潟で立候補する意義があると考えています。新潟のために尽くしたい、その思いでいっぱいです。

経過報告 立憲民主党新潟県連代表 西村 ちなみ

安倍政権の下では県民、国民の暮らしはよくなる。働く人たちの実質賃金が上がっていない。上ばかり見ている付度政治（そんたくせいじ）をこの新潟から変えたい。1人区では野党がまとまらないとだめでこれまで話し合いを進めてきて、今日、野党統一候補として打越さんを発表できた。打越さんは弁護士として子どもや女性、弱い人の立場に立って、重要な仕事をしてきた。よく食べ、よく笑う。政治家としての資質は整っている。私たちは勝利のために、活動をとことんまで力の限りがんばっていきたい。

激励の言葉 衆議院議員 菊田 まきこ

打越さんは、この新潟で骨を埋める覚悟で出馬を決意してくれた。時間がない、地縁血縁もない、ゼロから、否、マイナスからのスタート。しかし、志を立てた以上、本気の共闘で付度政治を変えていく闘いに取り組む。打越さんは法曹界では人権派の弁護士さんで、中央で活躍の弁護士が新潟に来てくれる。過酷な選挙、全身全霊で走り抜いてもらいたい。私も4区で頑張って、一気に呵成に相手に追いついていきたい。

激励の言葉 衆議院議員 黒岩宇洋

打越さんの相手はやめた道路を2700億円で復活させた付度の政治家。さくらさんは常にメモを取って誠実に話を聞く。新潟から東京に人も物も出ていく。原発で生まれる電気も東京に行く。原発は危険と隣り合わせ。不条理、不合理を社会的に許せない姿勢を政治の世界で、このタイミングで果たしてもらいたい。新潟での野党共闘を最高のバージョンアップで闘える。私もさくら打ち出しで頑張っていく。



激励の言葉 参議院議員 森 ゆうこ

何としても安倍政治をやめさせなければならない。打越さんの勇気ある決断に敬意を表したい。しかし、300キロの海岸線、真夏の選挙戦は過酷で地獄の中での闘いになる。相手の塚田は頭丸めてお詫び行脚。決して侮れない強い相手。どうしても勝たなければならないが勝利の鍵は皆で力を合わせて闘った沖縄の闘いにある。情熱を持って団結して闘っていけば勝てる。なぜなら、生活が良くなっていない国民の理解と支持がある。夏の参院選はどうしても勝たなければならない選挙です。

激励の言葉 国民民主党新潟県連代表 梅谷 守

野党側はこれまでは闘いの土台を造る事、これからは“勝つ”ことが目的となる。わたしが私が、おれが俺が、では勝利はない。チームを組んで勝ちに行く。その後に勝利はある。アベさんは庶民の上にあぐらをかいてきた。格差の広がり止めさせ、弱者へ政治の光を当てていきたい。打越さんは新潟出身ではないが故に、新しい視点、斬新な発想で新しい新潟の創造ができる素晴らしい候補者。私も皆さんと一緒に頑張っていきたい。



5/3 いいね! 憲法9条 新潟大集会 での訴え

なぜ憲法が必要なのでしょう。権力を縛る憲法がなければ私たちは余りにも無力です。今の憲法がない時代のことを知っています。第2次世界大戦での犠牲者は130万人とも230万人とも言われています。これだけ幅のある数字は一人一人の命を大事にし

なかった現れです。その反省に立って憲法は個人を何よりも重要であることを提示しました。私たち一人一人が大切であることを掲げているのが日本国憲法です。憲法を改正してしまったら、いえ、不安になることはありません。私たちは決して無力ではありません。改憲勢力が3分の2に達しなければ、安倍さんは改正できません。私たちには改憲を阻止する力があります。夏の参院選挙でがんばりましょう。どうぞ、よろしくお祈りします。